



# ECO-FACTORYのご提案

サステナブルな施設づくりに向けた  
新しいゴミ庫の仕組み



AIM CREATE & MARUI FACILITIES

世界におけるごみ問題は、深刻な状況にあります。

社会問題として認知されており、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs」でも2016年から2030年の国際目標として17のゴール・169のターゲットに含まれているのです。



### 商業施設のゴミ庫において解決すべきゴール



大量生産・大量消費の暮らしが地球に大きな負担を掛けています。地球1個分が作り出してくれる資源やエネルギーに対して、私たちは1.7個分のものを消費していると言われています。



気候変動の中で大きな問題を締めるのが「地球温暖化」です。地球温暖化の原因となる「二酸化炭素」の排出を減らすために、大量消費をやめてリユースやリサイクルを心がけることが求められます。



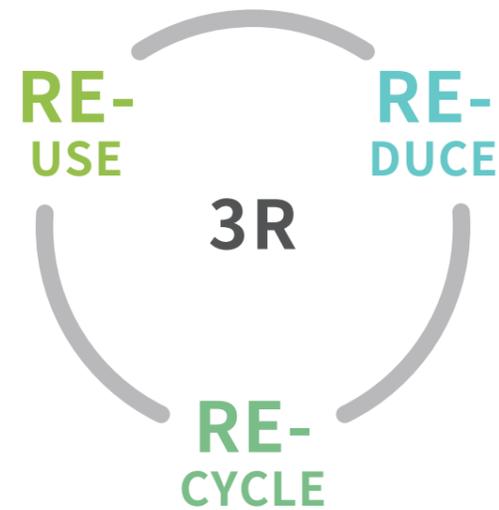
地球の面積の7割を占める生命の源である海に、多くのプラスチックが廃棄されています。2018年時点で世界のプラスチックリサイクル率は14~18%ほどで、24%が焼却、残りは不法に投棄・焼却されています。



人間の生活が豊かになるにつれて、ごみや廃棄物が増え、自然がどんどん破壊されていったのです。多くの資源や生物多様性を育む自然を守るために、一人ひとりの活動が大切になっています。

解決すべきゴールに向かうには“3R”の考え方が重要です。

ECO FACTORYは「リサイクル」を強化することで、未来をつくる商業施設へとシフトします。



### 資源リサイクルが必要な理由

資源を  
有効に使う

廃棄物から資源を取り出して再利用することで  
限りある資源を有効に活用でき  
地球資源の枯渇を防ぐことができます。

自然環境への影響を  
少なくする

廃棄物を適正にリサイクルすることで  
有害物質などの流出を抑え、  
環境やわたしたち人体への悪影響を少なくできます。

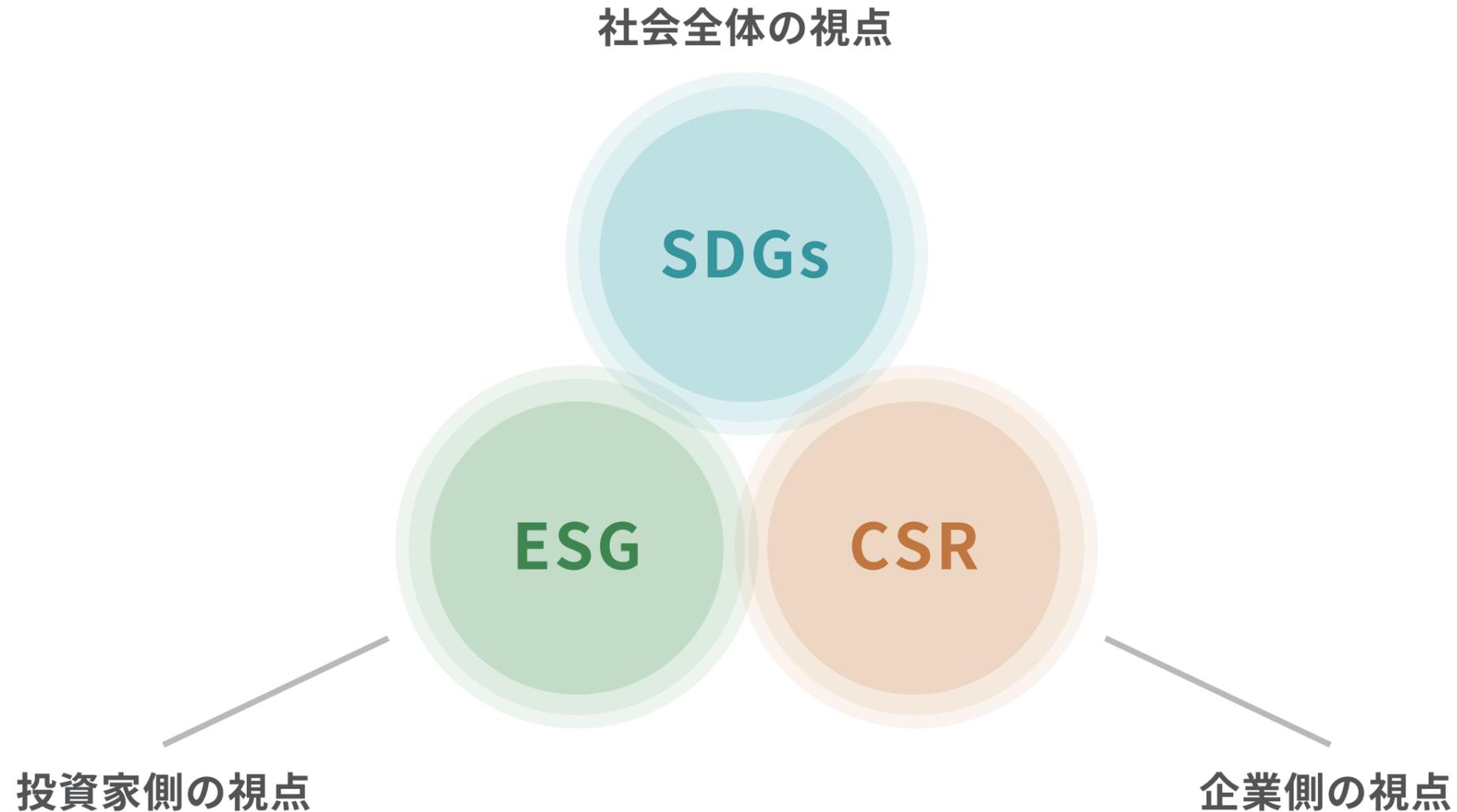
プラスチックごみ  
リサイクル義務化

プラスチック資源循環促進（2022年4月施行）  
プラスチックのライフサイクル全般で  
サーキュラーエコノミーへ移行加速しています。

埋立処分場の  
処理能力が限界

処分場は2041年に限界を迎えると予測されています。  
処理にまわる廃棄物が少なくなれば  
埋立処分場の残余年数を延ばすことにも繋がります。

SDGs における「社会全体の視点」だけでなく  
「投資家側の視点」としても「企業側の視点」としても環境における課題へのアプローチは非常に重要です。



「Environment (環境)」「Social (社会)」「Governance (ガバナンス)」

企業が長期的に成長するためには、

ESG への取り組みが重要との見方が急速に広まっています。

それに伴って、ESG に積極的に取り組む企業に投資する「ESG 投資」が  
マーケットのメインストリームと言えるほど、大幅に拡大しています。

「Corporate Social Responsibility」= 「企業の社会的責任」

企業が成長を続けていくためには、株主や従業員、顧客、取引先

地域社会などから信頼を得なければなりません。

製品やサービスが高品質であるだけでなく安全であること、公正で倫理に沿った  
活動を行っていること、環境に配慮していることなどの「社会的責任」が求められます。

丸井グループにおいてはサステナビリティガバナンスにおいて4つの重点テーマを設定しています。  
その1つである「エコロジカル・インクルージョン」というテーマにおいて様々な取組を実践しています。

国際的イニシアチブ  
「RE100」に加盟



「グリーン電力証書システム」  
に参加



廃棄物削減への  
取組み



FSC® の認証を受けた素材の  
ショッピングバッグ



再生可能エネルギー  
切替のすすめ



...and more

環境負荷の少ない事業を推進し、低炭素社会や循環型社会の実現をめざし、  
自然と環境の調和を図るエコロジカルなライフスタイルを提案していくことを目指しています。

ECO-FACTORY は「分別の徹底」「意識の醸成」「環境の整備」の3つのポイントにより  
既存のゴミ庫をリサイクルセンターへ刷新する仕組みです。



### 分別の徹底

- ごみ圧縮貯蔵装置撤去（燃えるごみ削減）
- 分別サポート人員配置
- ごみ処理パートナー変更

### 意識の徹底

- 従量課金制の導入
- テナントスタッフへの啓蒙  
（楽しくわかりやすく分別）

### 環境の整備

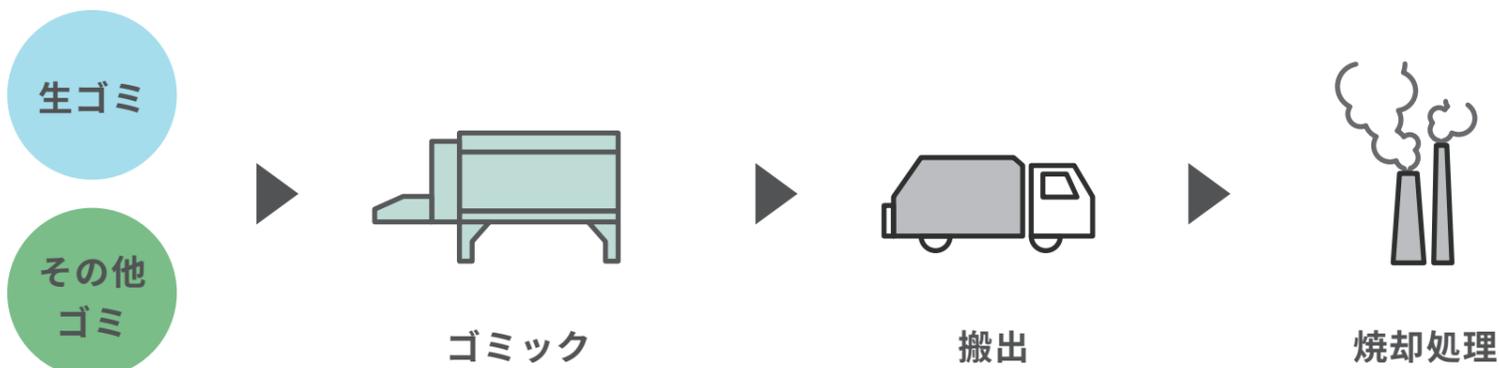
- アートの導入（明るく愛着の持てる環境に）
- わかりやすいサインの変更
- 全体レイアウト変更
- 生ごみ分別室の設置

3つのポイントにより「資源リサイクル率向上」と「廃棄物量削減」を実現します

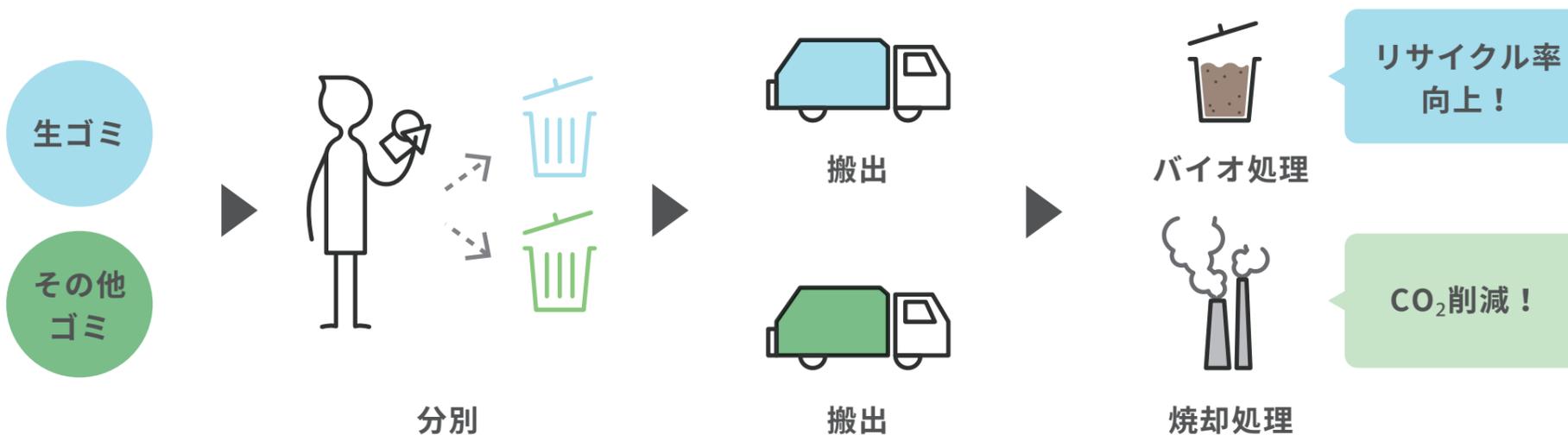
## 分別の徹底

### ごみ圧縮貯蔵装置撤去

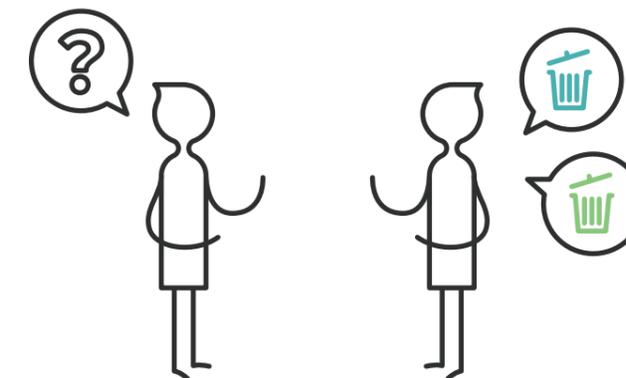
**Before** 全て燃えるゴミとして分別せずゴミック（ごみ圧縮貯蔵装置）へ



**After** ゴミを分別し、ゴミごとに合わせた処理方法で地球環境への負担を軽減



### 分別サポート人員配置



分別サポート要員を配置し  
分別を徹底

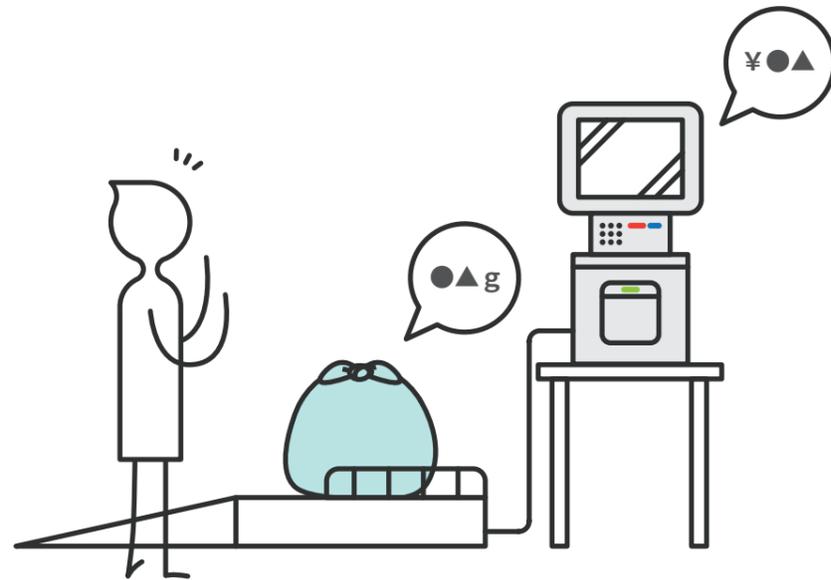
### ごみ処理パートナー変更



リサイクルが可能な協力会社へ変更

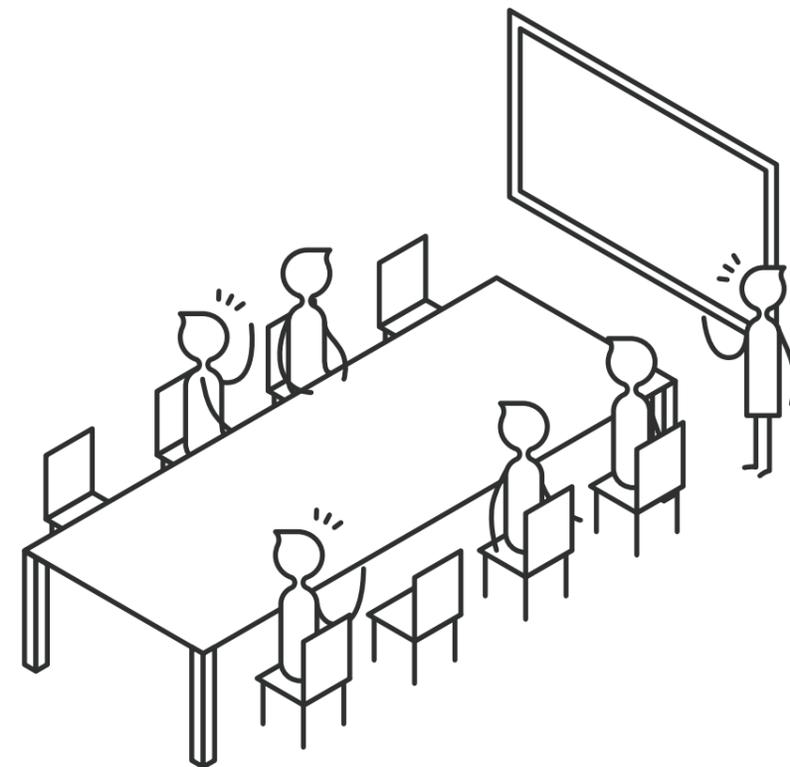
意識の徹底

従量課金制の導入



テナント毎にゴミの計量を行い、排出量を可視化するシステムを導入  
排出重量による処理費用の課金制への転換を行いました

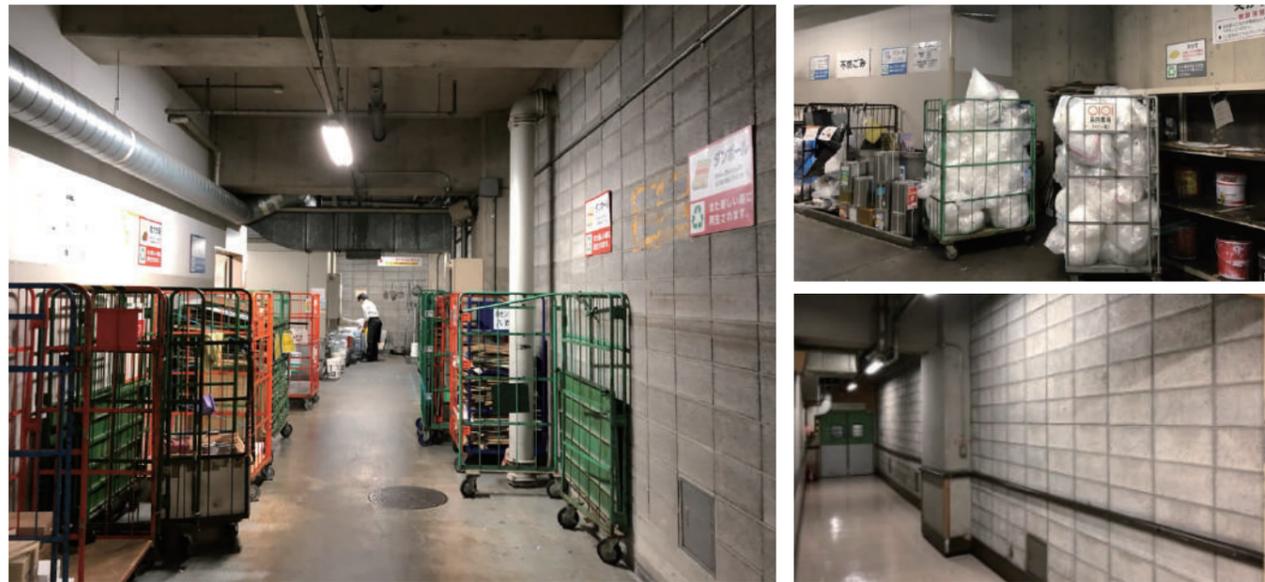
テナントスタッフへの啓蒙



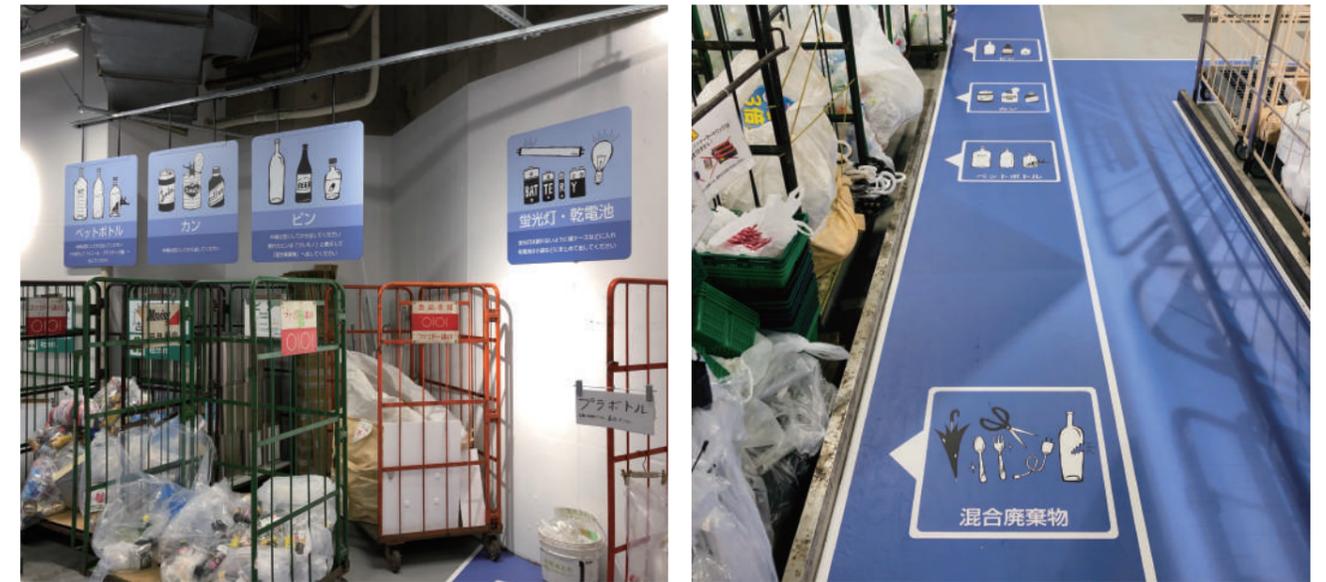
テナント向けの説明会を実施  
分別徹底への理解浸透に向けた、コミュニケーションの場を設けました

環境の徹底

レイアウト変更



分別室設置

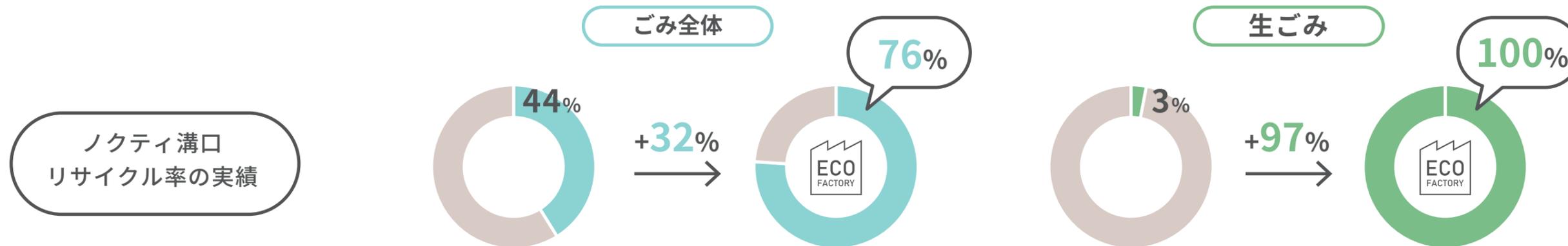


わかりやすいサイン計画



地域共創のアート

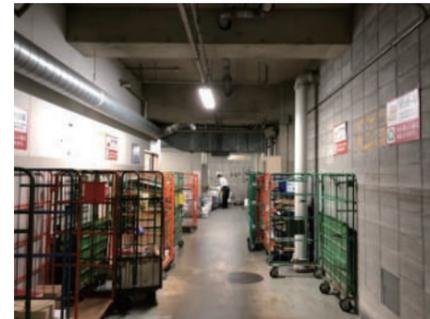




Before



ポジティブで  
「愛着が沸く場」へ  
イメージ刷新

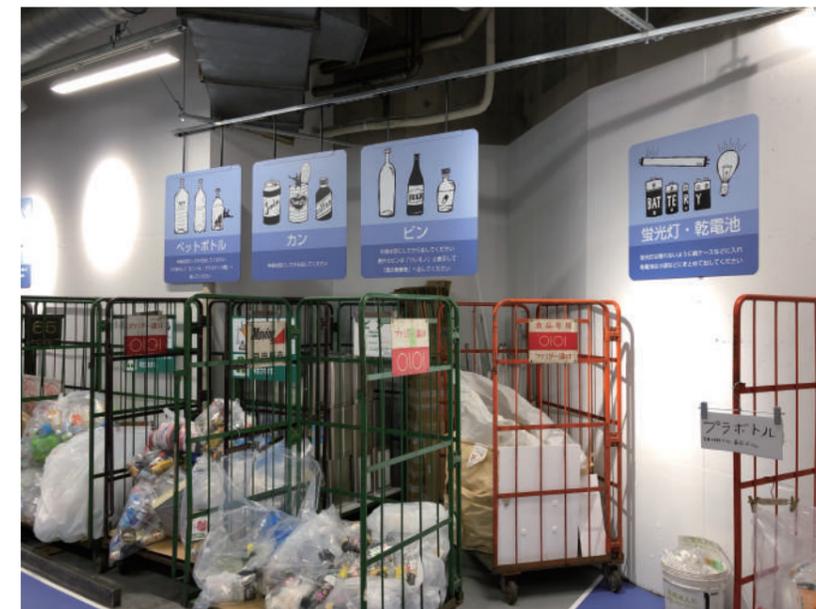
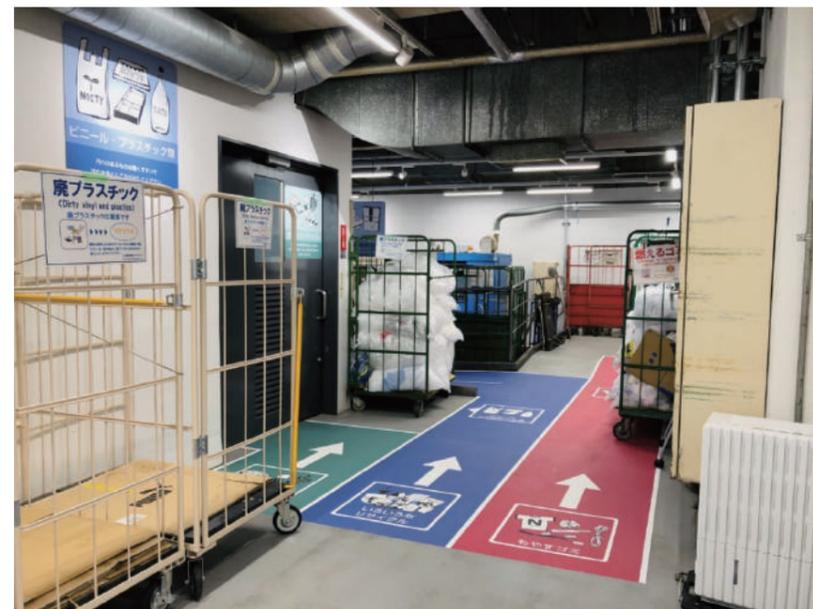
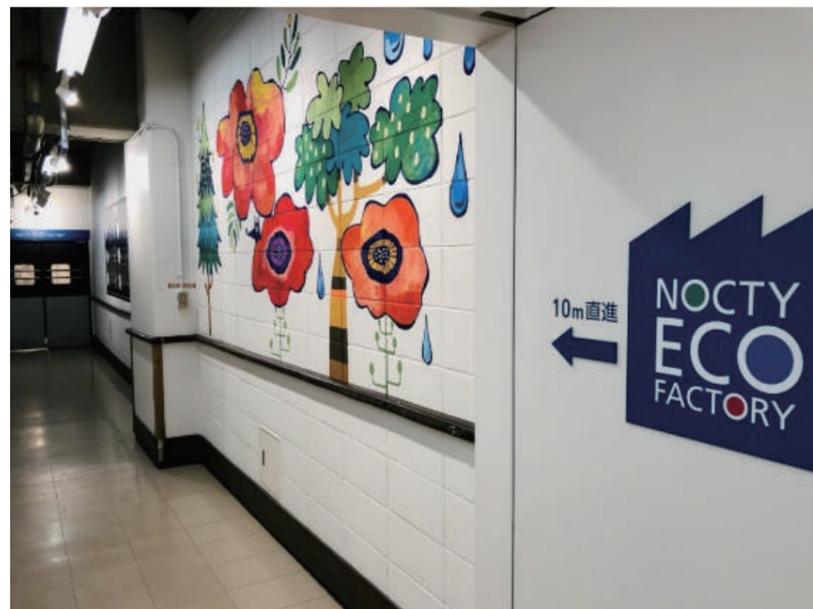


初見でも  
分かりやすい  
ルート誘導



楽しく正確に  
分別ができる場へ

After



店内からゴミ庫への通り道にアート × 誘導サインを  
施す事でゴミ庫への暗いイメージを刷新。従業員の方から  
愛着を持たれる場へリニューアルしました。

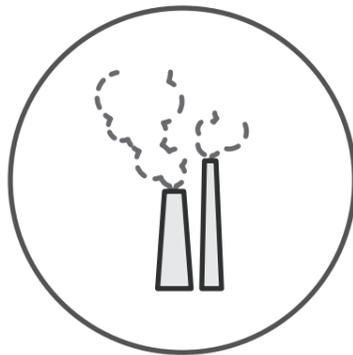
ゴミ庫入口箇所には各ゴミ分別スペースまでのルート  
を分かりやすくするためにサインを床面に設置しています。

分別ゴミの絵と分別方法をイラストで分かりやすく記載。  
楽しく正確に、前向きな気持ちで作業できる場になるように  
工夫しています。

## ECO-FACTORY が叶えること

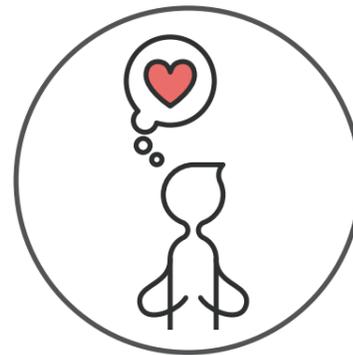
分別強化に伴う  
焼却ごみの減量化により

CO2 排出削減



環境改善による

ES 向上



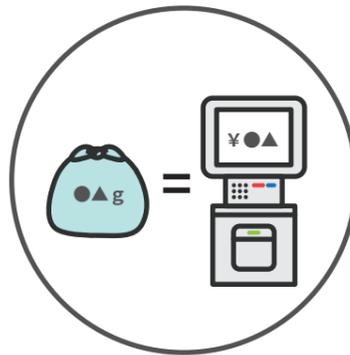
小学校等の社会科見学で

楽しく学べる空間へ



生ごみ・その他ゴミの

リサイクル率大幅アップ



ゴミ軽量システムの

導入による

ごみ排出量の可視化



行政機関と連携した

地域環境改善



“資源リサイクル率向上” と “廃棄物量削減” を実現した  
サステナブルなリサイクルセンターに



丸井グループ実績（2021年度実績）

	2018年度	2021年度	
廃棄物排出量 総合計	14,419t	10,102t	▲4,317t
最終処分量	5,895t	3,021t	▲2,874t
廃棄物回収量 (リサイクル量)	8,524t	7,081t	▲1,443t
リサイクル率	59%	70%	+11pt

これまでの取組みとポイント



北千住マルイ



新宿マルイ本館



町田マルイ

POINT.1

ゴミそのものが減る

POINT.2

最終処分（焼却・埋め立て）量が減る

POINT.3

リサイクル率が上がる



**END**



**AIM CREATE & MARUI FACILITIES**